

毎週最新の出版情報が満載！（毎週月曜日発行）

今週の総合ベスト10

1	早川書房	同志少女よ、敵を撃て	逢坂冬馬	¥2,090	↑
2	PHP研究所	子宝船 ききたき補助帳(二)	宮部みゆき	¥1,760	↓
3	文響社	夢がなくなるのオカネと夢を食むのウ	水野敬也	¥1,848	↑
4	エクス新書	へんせつとせんそう	谷川俊太郎	¥1,320	NEW
5	ひあ	江イン流お金の増やし方	厚切江イン	¥1,430	↑
6	スコップ出版	さよならデザート	渡辺大輔	¥1,980	↓
7	講談社	掟上今日子の忍法帖	西尾維新	¥1,650	NEW
8	飛鳥新社	私が見た未来 完全版	たつき諒	¥1,200	↑
9	ダイヤモンド社	苦しかったときの話をしようか	森岡毅	¥1,650	↓
10	飛鳥新社	にゃんに四字熟語辞典	西川清史	¥1,540	→

6/6~6/12

今週のPICK UP

両手にトカレフ



著者: プレイティみかこ 税込価格: ¥1,650 (本体: ¥1,500)
 出版社: ポプラ社 サイズ: 20cm/265p
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-591-17399-2
 ■内容■ 14歳のミアは、学校では自分の重い現実を誰にも話せなかった。けれど、同級生のウィルにラブのリックを書いてほしいと頼まれたことで、「世界」が少しずつ変わり始めて…。『Asta*』他連載を加筆修正。
 『ほくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の著者が14歳の少女の「世界」を描く、心揺さぶる長編小説。

こんな“ごはん”食べてみたい



幸福な食卓



著者: 瀬尾 まいこ 税込価格: ¥682 (本体: ¥620)
 出版社: 講談社 サイズ: 15cm/280p
 発行年月: 2007.6 ISBN: 978-4-06-275650-1
 ■内容■ 佐和子の家族はちょっとヘン。父を辞めると宣言した父、家出中なのに料理を届けに来る母、元天才児の兄。そして佐和子には、心の中で次第にその存在が大きくなるボーイフレンド大浦君がいて…。それぞれ切なさを抱えながら、つながり合い再生していく家族の姿を温かく描く。

スープ屋しずくの謎解き朝ごはん 1



著者: 友井 羊 税込価格 ¥682 (本体: ¥620)
 出版社: 宝島社 サイズ: 16cm/280p
 発行年月: 2014.11 ISBN: 978-4-8002-3413-1
 ■内容■ 東京のとある一角で、ひっそり早期営業しているスープ屋「しずく」。盗難、失踪からダイエットまで、客が抱える事件や悩みを、店主でシェフの麻野が鮮やかに解決する！スープ屋しずくの周りの事件を解決していく物語だが、何より、食べ物の描写がおいしそうすぎる。

彼女のこんだて帖



著者: 角田 光代 税込価格: ¥682 (本体: ¥620)
 出版社: 講談社 サイズ: 15cm/220p
 発行年月: 2011.9 ISBN: 978-4-06-277019-4
 ■内容■ 長く付き合った男と別れた。だから私は作る。私だけのために、肉汁たっぷりのラムステーキを！仕事で多忙の母親特製かぼちゃの宝蒸し、特効薬になった驚きのピザ、離婚回避のミートボールシチュー…。「美味しい」は、心も体も恋(しあわせ)も育てる。オリジナルレシピ付き！

かわら版 今週のお薦



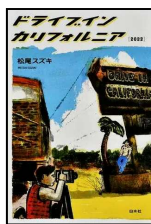
カレーの時間

著者: 寺地 はるな 価格: ¥1,760 (本体: ¥1,600)
 出版社: 実業之日本社 サイズ: 19cm/296p
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-408-53806-8
 ■内容■ ゴミ屋敷のような家で祖父・義景と暮らすことになった孫息子・桐矢。カレーを囲む時間だけは打ち解ける祖父が、半世紀の間、抱えてきた秘密とは…。終戦後と現在、ふたつの時代を「カレー」がつなぐ絶品「からうま」長編小説。
 ■著者■ 寺地はるな)1977年佐賀県生まれ。「ピオレタ」で第4回ポプラ社小説新人賞を受賞しデビュー。「水を縫う」で第9回河合隼雄物語賞を受賞。他の著書に「夜が暗いとはかぎらない」など。



風を彩る怪物

著者: 逸木 裕 税込価格: ¥1,980 (本体: ¥1,800)
 出版社: 祥伝社 サイズ: 19cm/429p
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-396-63625-8
 ■内容■ 音大受験に失敗した陽菜は自信を取り戻すため、自然豊かな奥瀬見にきていた。そこでオルガン制作者の娘・朋子と出会う。2人の19歳がパイプオルガン制作で様々な人と出会い、自ら進む道を見つけていく書き下ろし音楽小説。
 ■著者■ 逸木裕)1980年東京都生まれ。フリーランスのウェブエンジニア業の傍ら、小説を執筆。「虹を待つ彼女」で横溝正史ミステリ大賞を受賞し、デビュー。



ドライブインカリフォルニア(2022)

著者: 松尾 スズキ 税込価格: ¥2,420 (本体: ¥2,200)
 出版社: 白水社 サイズ: 19cm/189p
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-560-09429-7
 ■内容■ 「カリフォルニア」という名のドライブインを経営するアキオの元に、妹のマリエが息子のユキヲと供に14年ぶりに帰って来る。マリエ親子の帰郷をきっかけに様々な人が錯綜し始める中、ユキヲは不本意な死を遂げ…。
 ■著者■ 松尾スズキ)1962年生まれ。大人計画主宰。著書に「ファンキー！」「母を逃がす」「ニンゲン御破算」など。



残された人が編む物語

著者: 桂 望実 税込価格: ¥1,870 (本体: ¥1,700)
 出版社: 祥伝社 サイズ: 19cm/338p
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-396-63624-1
 ■内容■ 行方不明者捜索協会を訪れる依頼人と、そこで働く西山静香。足取りを追って見えてきた、失踪人たちの秘められた人生とは…。喪失を抱えて立ちすくむ人々が、あらたな一歩を踏み出す物語。捜索のはてに、彼らが見つけたものとは。感涙の連作集。
 ■著者■ 桂望実)1965年東京都生まれ。「死日記」で「作家への道！」優秀賞を受賞しデビュー。ほかの著書に「県庁の星」「恋愛検定」など。



動物になる日

著者: 前田 エマ 税込価格: ¥2,420 (本体: ¥2,200)
 出版社: ミシマ社 サイズ: 19cm/200p
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-909394-68-2
 ■内容■ 死んだ人の形見を貰えたら匂いがほしい。少女の感性をみずみずしく描き、あらゆる境界をゆさぶる表題作「動物になる日」と初小説作品「うどん」を収録。素朴な疑問を手放さず、現代の生を深く鮮やかに問う意欲作。
 ■著者■ 前田エマ)1992年神奈川県生まれ。ミシマ社が発刊する雑誌『ちゃぶ台』にエッセイ「習字のこと」(6号)「中学の頃」(7号)「高校受験」(9号)を寄稿。本書が初の小説集となる。



おばけのかわをむいたら

作/絵: たなか ひかる 税込価格: ¥1,265 (本体: ¥1,150)
 出版社: 文響社 サイズ: 18cm
 発行年月: 2022.6 ISBN: 978-4-86651-508-3
 ■内容■ ほそながいおばけのかわをむいたら、出てきたのは、おすもうさん！？ まるいおばけ、きたいおばけ、いがいがおばけ…。いろいろなおばけのかわをむいたら、なにが出てくる？
 ■著者■ たなかひかる)京都府出身。お笑い芸人、ギャグ漫画家、絵本作家。グレープカンパニー所属。「ぱんつさん」で日本絵本賞を受賞。ほかの作品に「ねこいる！」など。